

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です☒

☒ よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.7 2008.3.1

菊水福祉のまち推進センター運営委員会
札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-887-7006

福まち通信

除雪ボランティア紹介



東高サッカー部の皆さん

札幌市民にとって冬の除雪が一番の問題です。その中でも一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦の世帯にとっては最も頭の痛い問題であります。このため、札幌市社会福祉協議会では、70歳以上の高齢者のみの世帯や重度の障害者の世帯を対象に「福祉除雪サービス」を実施しています。これは前記の対象者世帯の玄関先の雪を「地域協力員(個人または企業・団体)」が除雪する制度ですが、色々な事情で

申し込みの実績が余りありません。菊水地区での今年の実施状況は29世帯で、個人協力員が4人で4世帯、企業協力員が2社で25世帯を担当している状況です。この程度の需要しかないかといえば決してそうではありません。

除雪ボランティア事業の紹介☒

介護予防センターが、回覧板やポスターやチラシの配布、それに民生委員さんなどに呼びかけて除雪希望世帯を募集したところ20世帯から希望



リーダーの紹介

があり、今回そのうち10世帯の除雪を行いました。今年で3年目となる事業で、毎年東高校の生徒さんが協力してくれています。今年にはサッカー部の1年、2年の生徒さんが協力してくれました。顧問の森田先生に引率され、午前9時に会議室に集合し、センター職員の注意事項の説明の後、10班に分かれて対象者宅に向かいました。取材編集委員が同行したところは、90歳の姉とその妹が住んでいるお宅で、道路に面しているのです



大雪の中懸命に除雪する部員

が、玄関前は前夜の降雪で雪を掻き分けなければ訪問できない状態でした。早速7人の生徒さんたちが除雪を開始し、玄関前や雪でふさがった台所の窓の除雪をてきぱきと済ましていました。

この事業にはこんな協力者がいました。除雪の道具が足りないという話を聞いて、細野福まち運営委員長が手押しダンプやスコップなどの調達をされ、その運搬には1条4丁目町内会の会長がトラックで運搬してくれたのです。



町内会ボランティア除雪の紹介

菊水上町第12自治会(谷内山会長)では、「市民助成トラック貸出制度」を利用し町内会会員の協力の下排雪を行うと同時に、一人暮らしの高齢者や重度の身体障害者のお宅の除雪を、町内会会員の協力で実施しています。今年は10世帯を4人の会員が担当して雪が降るたびに除雪をしてあげています。取材に訪れた日は、丁度大雪が降った日で88歳の聴力障害の婦人が一人暮らしをしている家の除雪をしていました。このような例はほかの町内会でもあることでしょうか、安心・安全な地域を守る努力に頭が下がる思いでした。



命の道を開ける町内会員



谷内山会長

民生委員さんを紹介します

平成19年12月3日(月)午後2時、

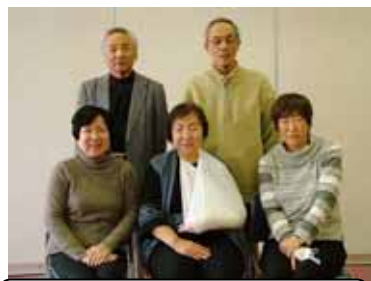
白石区民センターホールで、再任を含めて民生委員・児童委員310名の方々と主任児童委員19名の方に厚生労働大臣からの委嘱状の伝達式がありました。

このうち、菊水地区では民生委員・児童委員38名と主任児童委員2名の方々に委嘱状が渡されました。これらの人たちは、地域から推薦され、厚生大臣から3年の任期で委嘱され、お年寄りや体の不自由な方々を始め、暮らしの心配事を抱える

方々の相談や援助に当たるボランティアの方々です。

民生委員制度は今年で91年目

大正6年(西暦1917年)、岡山県で「濟世顧問」、翌年大阪府で「方面委員」(その後全国でこの名称が使われる)、北海道でも少し遅れて大正11年に「保導委員」が誕生しています。第二次世界



東地区(5) 敬称略 ○印は新任
後列左 奥友、鈴木
前列左 三浦、山田幹事、阪口○



西地区(12) 敬称略 ○印は新任委員
後列左 井上、上野、工藤、山崎○、風間○、小坂
前列左 伊藤、鈴木副会長、山田会長、後藤副会長、加藤
欠席 黒沢



南地区(8) 敬称略 ○印は新任委員
後列左 西村、井元、鈴木主任児童委員、
南里○
前列左 藤原、菱田幹事長、山内○、千葉



北地区(7) 敬称略
左から 武田幹事、小川、平中
欠席 大久保、下出、五十嵐、中野

大戦の後、民生委員・児童委員という名称に変わりましたが、これらの人たちは現在の民生委員制度の前身となる人たちです。世の中がいくら変わっても、営々として庶民の味方として博愛精神を貫き通してきた、これらの人たちに感謝するほかはありません。

民生委員の仕事 長い歴史のある民生委員制度ですので、知らない方はいないと思いますが、この機会にご紹介します。

●民生委員・児童委員

- 福祉に関する心配事の相談を受け、解決のお手伝いをします。
- 一人暮らしのお年寄りへの声掛けや安否確認をします。
- お年寄りの健康状態や世帯状況を訪問調査します。
- 各種の福祉サービスや生活福祉資金の貸付、悪徳商法への対応などに関する情報提供と行政や専門機関の紹介、連絡を行います。

○民生委員は児童委員を兼務していて、子供や子育てに関する相談と支援を行います。

●主任児童委員

子どもに関する問題を専門的に担当する主任児童委員が、菊水地区には2人います。

- 児童虐待の早期発見や対応に関して、学校や児童相談所などと連携します。
- 民生委員・児童委員などと連携し、いじめや不登校などの問題を抱えている児童や家庭からの相談を受け、援助します。

●上記のような相談事がある方は、お気軽にご相談してみてください。貴方の地区の担当の民生委員を知りたいときは、下記にお問い合わせください。

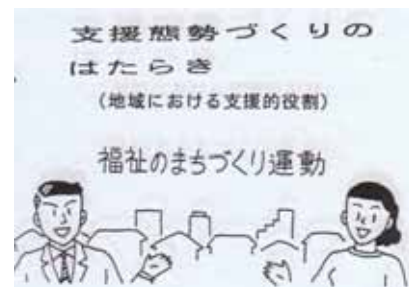
○白石区役所保健福祉課 861-2400

○菊水まちづくりセンター 811-9445

民生委員には法律上の守秘義務がありますので、相談の内容や支援活動については個人情報やプライバシーの保護に配慮した活動を行います。安心して相談してください。

福まち運営委員会の重要メンバー☒☒札幌市は平成7年に「地域

福祉社会計画」を制定し、その中で「福祉のまち推進センター構想」を発表しました。それに基づき、各地域に「福祉のまち推進センター運営委員会」が設けられました。菊水地域でも同7年に運営委員会を組織し、町内会や各種関係団体と共同して、今日まで福祉のまちづくりに努力を重ねています。



特に、民生委員・児童委員はその活動の重要メンバーであり、一人暮らし高齢者や体の不自由な方々の個別援助活動にとっては、地域住民による「福祉推進員や住民協力員」と協働してその任に当たることが必要とされているところです。

子育てサロンで大活躍☒☒民生委員は菊水地区の子育てサロンの運営に大変貢献されています。菊水地区会館で行われている「どんぐりころころ」では、民生委員さんたちが主体的に運営に当たっていますし、菊水やよい児童会館での子育てサロンでは、菊水各地区の民生委員さんが交代でお手伝いされています。また、上白石小学校で行われている「ぷりんぷりん」では、民生委員さんが運営委員の重要なポストを占めています。

委員さんが交代でお手伝いされています。また、上白石小学校で行われている「ぷりんぷりん」では、民生委員さんが運営委員の重要なポストを占めています。

19年度第2回 福まち研修会

平成20年2月22日(金)午後1時から菊水地区会館2階ホールで、福まち研修会が開催されました。今回は、白石区保健福祉課の水野保健師を講師に「認知症の正しい理解と早めの対応」というテーマで勉強をしました。会場には約50人の参加者が詰め掛け、プ



上町地区(8) 敬称略 ○印は新任委員
後列左 松浦、五田、菅原、丸山
前列左 縄野主任児童委員、佐々木、坂田幹事
薄井○



ロジェクターで大型画面に投影されたグラフや図を見ながら、講師の話
を熱心に聴いていました。次に、明るくなった会場では、認知症をテ
ーマに寸劇が演じられました。役者は、白石区役所の水野さん、第二地
域包括支援センターの松田さんと宮崎さん、それに介護予防センターき
くすいの松田さんと菊地さん、加えて今回はなんとまちづくりセンター
の中田所長が加わる豪華さです。劇のあらすじはこうです。10年前に



ご主人を亡くされた後、一人暮らしをしている菊子さんのところに娘の秋子が心配して
訪ねてきます。近頃菊子さんは物忘れがひどく、冷蔵庫には消費期限切れの食品がいつま
でも入っていたり、財布がないといつも探している状態なのです。秋子はそんな母の態度
を叱責するばかりです。安否確認のため訪ね
た民生委員さんも心配して地域包括支援セ
ンターに相談しました。地域包括支援セン
ターや介護予防センターなどの適切な指導の
結果、専門医を受診し、初期の認知症である
と診断されます。



娘の秋子が訪ねてくる



民生委員が安否確認にくる



専門家のアドバイスを受ける



専門医の診察を受ける

その後、菊子さんは関係機関などのアバ
イスを受け、デイサービスセンターに通う
ようになり、知り合いとの交流が再開しま
した。

娘の秋子も介護予防センターの「認知症予防
教室」で認知症患者との接し方を勉強し、母
の認知症を病気として受け止めることがで
きるようになりました。親子の緊張関係

が改善され、菊子さんの表情にも明るさが蘇ってきました。

福祉のまち推進センター

平成20年2月21日(木)
午後1時30分から

活動交換会



白石区民センターの区民ホールにおいて、昨年に引き続き白石
区社会福祉協議会の主催で地区福祉のまち推進センター活動交
換会が開催されました。白石区長も臨席され、区内8地区の福
まち関係者が一堂に集まった中で、細野菊水福まち推進委員長
から平成19年度のモデル事業の成果について説明があり、引
き続き広報活動の実態について枝元広報部員から話をしました。
連合町内会の広報紙は既に区内の各地区で発行されていますが、
福まち情報紙としてはまだそれほど発行されていないので、参

加した各地区の人たちから大変
羨ましがられています。

編集後記 今年の冬は雪が少ないので安心してたところ、ここにきて大雪に
悩まされています。体の節々が痛いとお悩んでおられる方も多いでしょう。ですが、春は
もうすぐやってきます。福まちの活動にも、春は必ずやってきます。 福まち広報部